


津山圏域消防組合 消防長 殿		車両火災 記入例		平成〇〇年〇〇月〇〇日 提出年月日を記入	
火元者等(占有者・管理者・所有者)で、当該車両について民法上最も権限を有するものの届け出を基本とする。		届出人住所 岡山県津山市林田〇〇番地 職 業 会社員 氏 名 消防 太郎			
火災損害届 (車両・船舶・航空機・林野・その他) 時刻不明の場合は調査担当職員に問い合わせ、提出の際に記入して下さい。					
1	り災日時	平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 〇〇 時 〇〇 分ごろ			
2	り災場所 及び対象名	岡山県 津山市林田〇〇番地 自宅前の市道			
	り災物件と届出人の関係	1. <u>所有者</u> 2. 管理者 3. 占有者 4. その他()			
3 車 両	運 転 者 氏 名	消防 太郎	車 名 ・ 年 式	〇〇カブ 2011年式	
	用 途 別	自家用普通乗用車(普通乗用)	購 入 年 月	2011年4月	
	車 両 番 号	岡山〇〇つ〇〇〇〇	購 入 金 額	4,000,000 円	
	焼損箇所及び損害見積額	水損箇所及び損害見積額	その他の損害及び損害見積額		
	全損 1,856千円	千円	千円		
4 船 舶 ・ 航 空 機	上記車両損害見積額の計算例(購入金額4,000,000円×経年数2年0.464=損害見積額1,856,000円となります。)				
	消耗品としての自動車の耐用年数は最も耐用年数の短い軽四乗用が3年から普通乗用車の6年となっております。損害見積額の残存率は普通乗用車は「経年1年未満=1・経年1年以上=0.681・経年2年以上=0.464・経年3年以上=0.316・経年4年以上=0.215・経年5年以上=0.146・経年6年以上=0.100(経過年数が古い物であっても経過年数は残存率は0.1を下回らないようにして下さい。)」を目安に計算して下さい。 ※ クラシックカーなどの希少価値のある自動車については、車両査定価格を参考に計算して下さい。				
5 積 載 物	焼損物品及び損害見積額	水損物品及び損害見積額	損害物品及び損害見積額		
	15千円	焼損物品の明細をり災物件明細書に記入し、その合計を記入する。	千円		
り災物件の <u>所有者</u> ・管理者・氏名		津山 次郎			
6 火災 保険	車両・船舶・航空機	保険会社名	岡山損害保険	保険金額	1,300千円
	積 載 品	保険会社名		保険金額	千円


7 林 野	所有別	1 国有 2 県有 3 市町村有 4 財産区 5 私有 6 その他()				
	種 別	千円				
	焼損物件の内訳	年生				
8 そ の 他	焼損物件名及び損害見積額	水損物件名及び損害見積額	その他の損害及び損害見積額			
	千円	千円	千円			
り災物件の所有者(管理者)氏名						
9	火災保険	林野・その他り災物件	保険会社名	保険金額	万円	
注 意 事 項						
1. この届出は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。						
2. この届出の提出がなければ、り災の証明書が発行できない場合があります。						
3. この届出は、り災した日から起算して1週間以内に提出してください。						
記 入 要 領						
(2の欄) り災物件と届出者の関係は、あてはまるものを○で囲んでください。						
(3の欄) 用途別は、乗用・貨物・貨物乗用・乗合バス・機関車・客車等の種別を具体的に記入してください。						
(4の欄) 用途は、はしけ・機帆船・貨物船・遊覧船・旅客機・練習機・自衛隊機等の種別を具体的に記入してください。						
(5の欄) り災物件の所有者・管理者・氏名は、物件の所有者・管理者と届出者が異なる場合のみ、あてはまるものを○で囲み、氏名を記入してください。						
(7の欄) (1)所有別で、その他に該当する場合は()内に具体的に記入してください。 (2)焼損物件の内訳は、立木の種類、生育年数、焼損本数又は石数を記入してください。						
備 考 不明な点の問い合わせ及び提出は、次の消防署へお願いします。						
調査担当		署・所 氏名				
警防課		警防企画調査係 電話番号 (0868) 31-1256				

津山圏域消防組合 消防長 殿		船舶火災 記入例		平成〇〇年〇〇月〇〇日 提出年月日を記入	
火元者等(占有者・管理者・所有者)で、当該船舶について民法上最も権限を有するものの届け出を基本とする。		届出人住所 岡山県津山市林田〇〇番地			
職 業 会社員		氏 名 消防 太郎			
火災損害届 (車両・船舶・航空機・林野・その他) 時刻不明の場合は調査担当職員に問い合わせ、提出の際に記入して下さい。					
1	り災日時	平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 〇〇 時 〇〇 分ごろ			
2	り災場所 及び対象名	岡山県 鏡野町塚谷〇〇番地北約200m付近ダム湖船舶繫留場所			
	り災物件と届出人の関係	1. <input checked="" type="radio"/> 所有者 2. 管理者 3. 占有者 4. その他 ()			
3	運 転 者 氏 名		車 名 ・ 年 式		
	用 途 別		購 入 年 月		
4	<small>消耗品としての船舶の木船・強化プラスチック船で耐用年数が最も長いもので6年程度となっております。損害見積額の残存率は「経年1年未満=1・経年1年以上=0.681・経年2年以上=0.464・経年3年以上=0.316・経年4年以上=0.215・経年5年以上=0.146・経年6年以上=0.100(経過年数が古い物であっても経過年数は残存率は0.1を下回らないようにして下さい。)」を目安に計算して下さい。</small>				
4	船 (機) 長 名	消防太郎	船 (機) 名	大漁丸	
	用途・船 (機) 種	動力漁船 (強化プラスチック船)	購 入 年 月	2011年	
	屯数・船 (機) 籍	5メートル船・日本国	購 入 金 額	1,000,000円	
4	焼損箇所及び損害見積額	水損箇所及び損害見積額	その他の損害及び損害見積額		
	千円	千円	千円		
5	焼損物品及び損害見積額	水損物品及び損害見積額	損害物品及び損害見積額		
	千円	千円	千円		
り災物件の所有者・管理者・氏名					
6	車両・船舶・航空機	保険会社名	岡山損害保険	保険金額	1,300千円
	積 載 品	保険会社名		保険金額	千円

7	所有別	1 国有 2 県有 3 市町村有 4 財産区 5 私有 6 その他 ()					
	種 別	千円					
7	野	焼損物件の内訳					年生
	8	焼損物件名及び損害見積額	水損物件名及び損害見積額	その他の損害及び損害見積額			
8	そ	千円	千円	千円			
	の	り災物件の所有者 (管理者) 氏名					
9	火災保険	林野・その他り災物件	保険会社名		保険金額	万円	
	注 意 事 項 1. この届出は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。 2. この届出の提出がなければ、り災の証明書が発行できない場合があります。 3. この届出は、り災した日から起算して1週間以内に提出してください。						
記 入 要 領 (2の欄) り災物件と届出者の関係は、あてはまるものを○で囲んでください。 (3の欄) 用途別は、乗用・貨物・貨物乗用・乗合バス・機関車・客車等の種別を具体的に記入してください。 (4の欄) 用途は、はしけ・機帆船・貨物船・遊覧船・旅客機・練習機・自衛隊機等の種別を具体的に記入してください。 (5の欄) り災物件の所有者・管理者・氏名は、物件の所有者・管理者と届出者が異なる場合のみ、あてはまるものを○で囲み、氏名を記入してください。 (7の欄) (1)所有別で、その他に該当する場合は () 内に具体的に記入してください。 (2)焼損物件の内訳は、立木の種類、生育年数、焼損本数又は石数を記入してください。							
備 考 不明な点の問い合わせ及び提出は、次の消防署へお願いします。 調査担当 署・所 氏名 警防課 警防企画調査係 電話番号 (0868) 31-1256							

津山圏域消防組合 消防長 殿		林野火災記入例		平成〇〇年〇〇月〇〇日 提出年月日を記入	
火元者等(占有者・管理者・所有者)で、当該船舶について民法上最も権限を有するものの届け出を基本とする。		届出人住所 岡山県津山市林田〇〇番地		職 業 農業	
氏 名 消防 太郎					
火災損害届 (車両・船舶・航空機・林野・その他) 時刻不明の場合は調査担当職員に問い合わせ、提出の際に記入して下さい。					
1	り災日時	平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 〇〇 時 〇〇 分ごろ			
2	り災場所及び対象名	岡山県 美咲町藤田上〇〇番地北約200m付近 原野(果樹園)			
	り災物件と届出人の関係	1. <input checked="" type="radio"/> 所有者 2. 管理者 3. 占有者 4. その他()			
3 車 両	運 転 者 氏 名			車 名 ・ 年 式	
	用 途 別			購 入 年 月	
		千円	千円		千円
4 船 舶 ・ 航 空 機	船(機)長名			船(機)名	
	用途・船(機)種			購 入 年 月	
	屯数・船(機)籍			購 入 金 額	
	焼損箇所及び損害見積額	水損箇所及び損害見積額	その他の損害及び損害見積額		
	千円	千円	千円		
5 積 載 物	焼損物品及び損害見積額	水損物品及び損害見積額	損害物品及び損害見積額		
	千円	千円	千円		
	り災物件の所有者・管理者・氏名				
6 火 災 保 険	車両・船舶・航空機	保険会社名		保険金額	千円
	積 載 品	保険会社名		保険金額	千円

7 林 野	所有別	1 国有 2 県有 3 市町村有 4 財産区 5 <input checked="" type="radio"/> 私有 6 その他()					
	種 別	300千円					
	焼損物件の内訳	牧野10アール焼損 桃樹5年生(20本) 梅樹5年生(10本)			年生		
8 そ の 他	林野火災とは森林、原野又は牧野の樹木、雑草、飼料、敷料等をいう。(農地、住宅地にある立木や田の畦草の火災は、その他火災となる。)						
		千円	千円	千円	千円		
	り災物件の所有者(管理者)氏名						
9	火災保険	<input checked="" type="radio"/> 林野	その他り災物件	保険会社名	農林保険	保険金額	100万円
注 意 事 項							
1. この届出は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。							
2. この届出の提出がなければ、り災の証明書が発行できない場合があります。							
3. この届出は、り災した日から起算して1週間以内に提出してください。							
記 入 要 領							
(2の欄) り災物件と届出者の関係は、あてはまるものを○で囲んでください。							
(3の欄) 用途別は、乗用・貨物・貨物乗用・乗合バス・機関車・客車等の種別を具体的に記入してください。							
(4の欄) 用途は、はしけ・機帆船・貨物船・遊覧船・旅客機・練習機・自衛隊機等の種別を具体的に記入してください。							
(5の欄) り災物件の所有者・管理者・氏名は、物件の所有者・管理者と届出者が異なる場合のみ、あてはまるものを○で囲み、氏名を記入してください。							
(7の欄) (1)所有別で、その他に該当する場合は()内に具体的に記入してください。 (2)焼損物件の内訳は、立木の種類、生育年数、焼損本数又は石数を記入してください。							
備 考 不明な点の問い合わせ及び提出は、次の消防署へお願いします。							
調査担当 署・所 氏名							
警防課 警防企画調査係 電話番号 (0868) 31-1256							

津山圏域消防組合 消防長 殿		その他火災記入例		平成〇〇年〇〇月〇〇日 提出年月日を記入	
火元者等(占有者・管理者・所有者)で、当該船舶について民法上最も権限を有するものの届け出を基本とする。		届出人住所 岡山県津山市林田〇〇番地		職業 小売業	
氏名 消防 太郎					
火災損害届 (車両・船舶・航空機・林野(その他) 時刻不明の場合は調査担当職員に問い合わせ、提出の際に記入して下さい。)					
1	り災日時	平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 〇〇 時 〇〇 分ごろ			
2	り災場所 及び対象名	岡山県 津山市林田〇〇番地 店舗前 (店舗前の衣服陳列台) 衣服商店ふくや			
	り災物件と届出人の関係	1. <input checked="" type="radio"/> 所有者 2. 管理者 3. 占有者 4. その他()			
3 車 両	運 転 者 氏 名			車 名 ・ 年 式	
	用 途 別			購 入 年 月	
		千円	千円		千円
4 船 舶 ・ 航 空 機	船 (機) 長 名			船 (機) 名	
	用途・船 (機) 種			購 入 年 月	
	屯数・船 (機) 籍			購 入 金 額	
5 積 載 物	焼損箇所及び損害見積額	水損箇所及び損害見積額	その他の損害及び損害見積額		
	千円	千円	千円		
6 火 災 保 険	焼損物品及び損害見積額	水損物品及び損害見積額	損害物品及び損害見積額		
	千円	千円	千円		
6 火 災 保 険	車両・船舶・航空機	保険会社名		保険金額	千円
	積載品	保険会社名		保険金額	千円

7 林 野	所有別	1 国有 2 県有 3 市町村有 4 財産区 5 私有 6 その他()				
	種 別	千円				
単独の動産(建物内の動産以外)が火災損害を受けた場合が該当します。なお、焼損物件の内訳が多い場合は別紙「り災物件明細書」に内訳を記入し提出して下さい。						
8 そ の 他	焼損物件名及び損害見積額	水損物件名及び損害見積額	その他の損害及び損害見積額			
	陳列台 100千円	衣服(30枚) 150千円	千円			
り災物件の所有者(管理者)氏名		消防 太郎				
9	火災保険	林野・ <input checked="" type="radio"/> その他り災物件	保険会社名	衣服保険	保険金額 100万円	
注 意 事 項						
1. この届出は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。						
2. この届出の提出がなければ、り災の証明書が発行できない場合があります。						
3. この届出は、り災した日から起算して1週間以内に提出してください。						
記 入 要 領						
(2の欄) り災物件と届出者の関係は、あてはまるものを○で囲んでください。						
(3の欄) 用途別は、乗用・貨物・貨物乗用・乗合バス・機関車・客車等の種別を具体的に記入してください。						
(4の欄) 用途は、はしけ・機帆船・貨物船・遊覧船・旅客機・練習機・自衛隊機等の種別を具体的に記入してください。						
(5の欄) り災物件の所有者・管理者・氏名は、物件の所有者・管理者と届出者が異なる場合のみ、あてはまるものを○で囲み、氏名を記入してください。						
(7の欄) (1)所有別で、その他に該当する場合は()内に具体的に記入してください。 (2)焼損物件の内訳は、立木の種類、生育年数、焼損本数又は石数を記入してください。						
備 考 不明な点の問い合わせ及び提出は、次の消防署へお願いします。						
調査担当 署・所 氏名						
警防課 警防企画調査係 電話番号 (0868) 31-1256						